

2008年7月16日

報道関係各位

中部学院大学

本学学生と岐阜県長期構想研究会が『車座討論会』

中部学院大学 短期大学部 経営情報学科は、岐阜県長期構想研究会と意見交換ならびに討論を交えた『車座討論会』を7月22日に各務原キャンパスにて開催します。今回は「地域振興とものづくり」にテーマを置き、本学学生と同研究会のメンバーが、岐阜県の長期構想について、意見を交わします。具体的には、「ものづくり」「地域産業」「観光産業」の視点から、PR方法や、関の刃物にみられる「伝統技術の継承」、「若者の定着」などについて話し合います。北海道洞爺湖サミットで関心が高まっている「環境問題」も議題のひとつとして挙げられています。

記

- 日時 2008年7月22日（火）午後3時～午後4時30分
- 会場 中部学院大学 各務原キャンパス 大会議室
(各務原市那加甥田町 30-1 058-375-3600)
- 参加者 短期大学部 経営情報学科の学生 16名
岐阜県長期構想研究会 3名

【主な議題（予定）】

岐阜県における「ものづくり」「地域づくり」「人づくり」

【これまでの本学における車座講演会開催】

本学では先月、同研究会と『車座討論会』を関キャンパスにて開催しました。「社会福祉」にテーマを置き、高齢者介護の問題点について意見交換しました。

【経営情報学科における『地域人』育成】

経営情報学科は、現代GP（Good Practice：優れた取組、別紙参照）に選ばれ、専門性と社会との関係を理解した地域人（※1）の育成を目指しています。

※1 地域人とは、生まれ育った土地で学び、働き、地域を愛し、活躍する人材です。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 短期大学部 経営情報学科 (担当：河野准教授) TEL:058-375-3600 (各務原キャンパス)

プログラムの概要

客足が遠のく商店街には、全国に商品を販売したいというニーズがある。また、安価な輸入品に押され気味の企業には、消費者へ直接販売したいというニーズがある。このようなサービスの高度化・情報化へのニーズに反して、それに対応できる電子商取引の知識・技術を持った人材の育成は遅れている。このような需給の不均衡を放置しておけば、若年者の雇用問題（ニート・失業・離職）に発展しかねない。また、知識と技術の向上を図らなければ、単純労働と知的労働に二極化する格差社会で学生が弱者となりかねない。本取組では、電子商取引教育を中心に地域産業への理解や創業に関する知識を組み合わせながら、専門性と社会との関係を理解した地域人の育成を目指す。そのために、資格取得支援や柔軟な単位認定制度を用いて学生のキャリアアップを支援する。これらを通じて、真に必要なとされ、働くことに喜びを見出し、地域で活躍できる人材の育成を目指すものである。

現代 GP について

現代 GP (Good Practice: 優れた取組) は、文部科学省が大学改革の取組を促進するため、国公私立大学を通じた競争原理に基づき、大学における学生教育の質の向上を目指す優れた取組を支援する事業として、平成 16 年度にスタートしたもので、新たな教育改革を確実な計画のもとに進め、時代を担う優れた人材養成を推進する取組を選定して支援するものです。